

驚くべき警察の作文・でっちあげ

再審請求のポイントは何か？

1 元市長が「頼んでいない」と明言

元市長の中谷良作なかやりょうさく氏は、孫が大学に進むために、北川さんに調査書の成績改ざんを依頼し、現金合わせて20万円を渡したとされます。それが「渡していない」と明言したばかりか、北川さんの再審申立て時の記者会見にも同席し、マスコミの前で「頼んでないし、金も渡していない」と主張し、証人尋問も行われました。



静岡地裁浜松支部の前にて

2 1名の教員が「指示は受けていない」と証言

4名の教員のうち1名が「北川校長から指示は受けていない」と弁護団に証言。3年生の担任から「何とかしなければ」といわれ、自分から「成績を上げるしかないね」と提案したと証言。4名の教員はこの事件で県教育委員会からの処分を受けて現在も現職に留まっていますので、自分たちのしたことにつづんでいます。

その裏には県教育委員会の思惑もあるようです。

3 事務日誌に中谷良作なかやりょうさく氏の記述なし

中谷氏は警察の取り調べで、「いつ頼みに行っ、いつ金を渡したのか」としつこく問われ、自分の手帳を開いて過去の空欄を見つけ、日にちを答えた。しかし高校の事務日誌の来客欄には、中谷氏の来校記録はありません。さらに中谷氏が金を渡したとされる時に、銀行にいたという証拠が出てきました！

4 「なんとかならないか」は本当に改ざんの指示か？

裁判記録によれば、初めて3年生を受け持つ担任が、最後の2学期に入ってから大学進学するための基準に達していないことに気づき、あわてて校長に報告。その際に「なんとかならないか」と言ったとされることが、調査書の成績改ざんの指示にあたるとして北川さんは有罪になりました。

「じゃあその生徒に諦めなさい」という校長がいるのでしょうか。実際に指示であるというなら、なぜ担任は「指示通り改ざんしておきました」という報告を北川さんにしていないのでしょうか？

<事件・裁判の経過>

- 2008年 3月 北川さん天竜林業高校を定年退職
- 4月 静岡県教育委員会に「内部告発状」郵送される
- 7月 県教育委員会が北川さんを刑事告発
- 2010年12月 北川さん最高裁の上告審で棄却→有罪確定
- 2014年 4月 北川さん静岡地裁浜松支部に再審請求→棄却
- 2016年10月 北川さん東京高裁に即時抗告→棄却
- 2020年10月 中谷元市長が浜松簡易裁判所に再審請求→棄却
- 2021年 4月 北川さん最高裁に特別抗告→棄却
- 2023年10月 北川さん静岡地裁浜松支部に第2次再審請求申立て



雄大な天竜川の流れ